

いのち生きいき 輝くしまっ子



福島県教育委員会

もくじ

はじめに	1
1 いのち生きいき輝く子どもの姿	2
～子どもを輝かせる親のかかわり方～	
2 子どもの成長	3
～たくさんの人たちとのかかわりの中で～	
3 子どもたちを取り巻く性に関する状況	4
4 福島県の「性に関する教育」	6
5 家庭における子どもとのかかわり	
(1)思春期の体の変化	8
(2)反抗期かな・・・と思ったら	9
(3)しっかり向き合って(Face to Face)	10
6 いのちのつながり	13

※子育てに関する相談窓口

はじめに

この世に生を受け、生まれてきた子どもたち。

親は子どもの幸せを願い、社会の一員として、立派な大人に成長してくれることを心から望んでいるものです。

しかしながら世の中の変化は激しく、子どもたちを取り巻く環境は必ずしも恵まれている状況ではありません。携帯電話やインターネットなど情報化が進み、様々な情報が手に入りやすくなった反面、子どもにとってよくない情報もまた、すぐに手の届くところにあります。残念ながら性を商品化した情報や誤った情報などもたくさん出回っています。

このような中、福島県教育委員会では、子どもたちの豊かなこころと生きる力をはぐくむ「性に関する教育」を展開しています。

また、学校における「性に関する教育」は、学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階を踏まえ、体育・保健体育をはじめとする各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間など学校の教育活動全体を通じ、人としてどう生きるかという心の在り方と結びつけて指導しています。

子どもたちの健やかな成長のためには、家庭や地域との連携協力が不可欠であることから、このたび、子どもたちを取り巻く性にかかわる問題の背景や家庭における教育のポイントなどをまとめたリーフレットを作成しました。

子どもを育て、その成長を見守ることは、大きな喜びであり、楽しみでもあります。このリーフレットが子どもたちの健やかな成長の一助となればと願っております。

平成 22 年 3 月

福島県教育庁学校生活健康課長 滝田文夫

1 いのち生きいき輝く子どもの姿 ～子どもを輝かせる親のかかわり方～

こんなことありませんか？

- ★仕事から帰ってきて疲れていると・・・
「今忙しいから、ちょっと待って！」
- ★悪いところばかり見えて、ガミガミ言ってばかり・・・
「まったく！いつもそうなんだから！」
- ★つい、感情的に怒ってしまった・・・
- ★家事の手伝いをしてもらったけど、手伝いをするのは当たり前だから、
ありがとうと言わなかった・・・



こんな視点でお子さんを見つめてみませんか？

- ☆良いところは？
- ☆好きなことは？
- ☆最近がんばっているところは？
- ☆将来の夢は？



1人1人のいのちはかけがえのない大切なものです。
お子さんを認め、励ますことが大切です。

..... 元気いっぱい! **生きいき**

- 運動 大 好き ↑
- 食事 食 べ たい ↑
- 学習 わ かる ↑
- おもしろい ↑



- ↑ ぐっすり眠る ● 睡眠
- ↑ 楽 しい ● 生活
- ↑ 明 る い ● 表情
- ↑ 笑顔がいっぱい

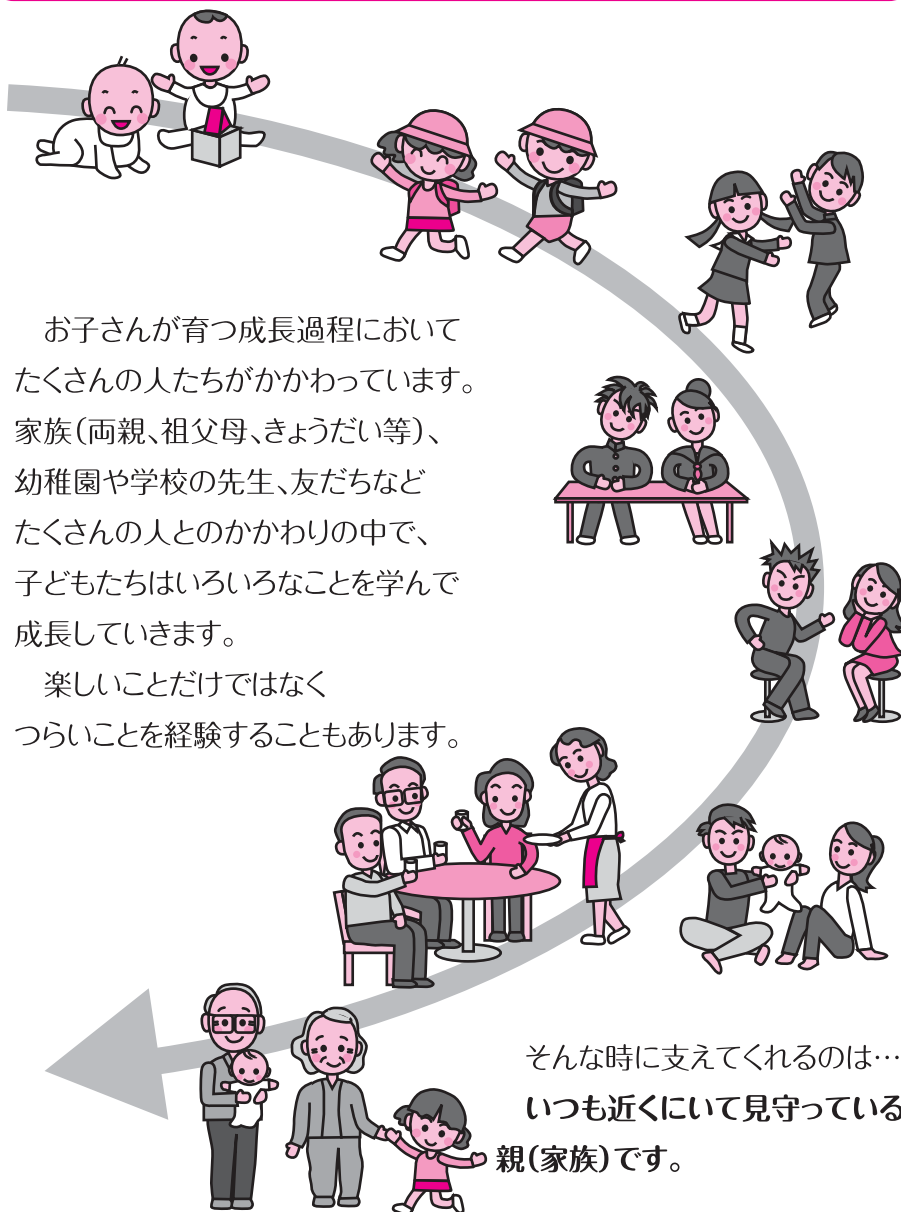
プラスの要素が
たくさん

自分に自信がつく

問題が発生しても回避したり、解決したり
する力がついてくる。感受性が豊かになる。

2 子どもの成長

～たくさんの人たちとのかかわりの中で～



お子さんが育つ成長過程において
たくさんの人たちがかかわっています。
家族(両親、祖父母、きょうだい等)、
幼稚園や学校の先生、友だちなど
たくさんの人とのかかわりの中で、
子どもたちはいろいろなことを学んで
成長していきます。

楽しいことだけではなく
つらいことを経験することもあります。

そんな時に支えてくれるのは…

いつも近くにおいて見守っている

親(家族)です。

3 子どもたちを取り巻く性に関する状況

現在、人工妊娠中絶率や性感染症の罹患、出会い系サイトによる事件などが問題になっています。

思春期の性の現状(福島県における人工妊娠中絶率)

	15～19歳 (女子人口千人対)	20～24歳 (女子人口千人対)
全 国	7.6 (131人に1人)	16.3 (61.3人に1人)
福島県	8.6 (117人に1人)	23.8 (42人に1人)
順 位	ワースト15位	ワースト2位

(衛生行政報告例より)

- ・福島県の人工妊娠中絶率は全国平均を上回っています。
10代の人工妊娠中絶率は1000人に対しては8.6人ですが、117人に1人が人工妊娠中絶をしているとみることができます。
22～24歳の人工妊娠中絶率は、全国ワースト2位です。
- ・性感染症：性行為によって感染する病気で、近年、全国的に増加傾向にあります。県内においても10代の子どもの性感染症が増加しています。

もっと自分を大切にしてほしい
相手を思いやってほしい



性に関する状況

子どもが入手する性情報等には注意が必要です。マンガや雑誌、携帯サイトにおいて過激な誤った情報などが氾濫しています。

インターネットの使い方については、フィルタリングシステムを利用し、大人のいる場所で使うことなど、配慮や約束が必要です。

携帯電話における出会い系サイトへのアクセスは絶対しないよう伝えましょう。携帯電話使用時の約束も必要です。

被害者のほとんどが、女子中学生・高校生です。

	小学生	中学生	高校生	計
計	2(±0)	211(-100)	328(-207)	541(-307)
女性	2(±0)	211(-100)	326(-208)	539(-308)
男性	0(±0)	0(±0)	2(+1)	2(+1)

(平成20年統計より「被害者のうち小学生・中学生・高校生の数」単位は人数)

警察庁サイバー犯罪対策「出会い系サイトにかかる犯罪予防ホームページ」
<http://www.npa.go.jp/cyber/deai/index.html>

全国高校生1万人調査(2004年)の結果では、家族と全く話をしない生徒は、する生徒に比べ、性行為を容認する意識(性意識)・性経験率は2倍以上も高く、先生が平等に接していると感じていない生徒はそう感じている生徒に比べて、性意識・性経験率が約2~2.5倍高いことが示された。さらに大切にしてくれる大人がいない中学生は、いる生徒に比べ、性意識が2~3倍、性経験率は2~4.5倍高いという結果が得られた。

(平成19年度性教育指導者講習会資料:文部科学省スポーツ・青少年局健康教育課より)

家庭に自分の居場所がないと感じたり、なんとなく満たされないという思いで毎日をすごしたりしている子どもたち…



※本当は親や先生など自分とかわりのある人たちの愛情を求めています。

子どもたちは、自分が家庭の中で大切にされていることを実感することで、自分を大切にできる心が育ちます。

4 福島県の「性に関する教育」

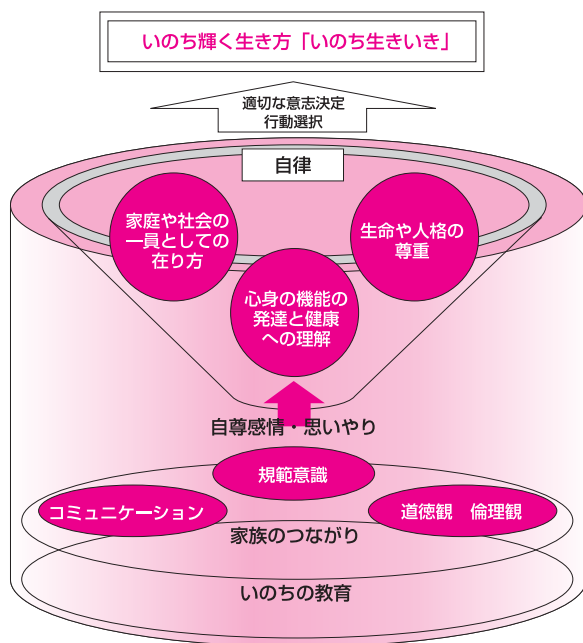
性に関する情報がたくさんある中で、子どもたちが正しい知識を持ち、情報を選択するとともに適切に判断し、正しい行動ができるよう、子どもたちに対して発達段階に応じた性に関する教育を行うことが必要です。

本県の「性に関する教育」は…

自他のいのちを大切にする心。

自尊感情を育てるとともに、望ましい人間関係を築く能力。

を育成し、児童生徒一人一人の
いのちが生きいき輝く姿を目指しています。



「人格の完成・豊かな人間形成」を性に関する教育の基本目標に掲げ、学校においては、次のことを指針として性に関する教育を進めています。

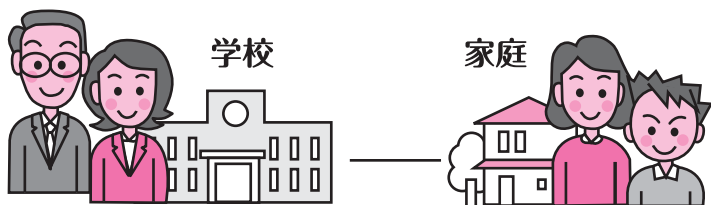
指針(基本的方向性)

- 1 自分を大切にする(愛する)心を育てるとともに、他者を大切にする気持ちを育てる。(人格の尊重、思いやり)
- 2 自分たちを取り巻くさまざまな性情報を取捨選択し、行動できる力を育てる。
- 3 直面する性に関する問題に対し知識を持ち、適切な意志決定や行動選択ができるよう育てる。

(「性に関する教育」の手引より)

学校と家庭との共通理解のもと進めることが大切です

子どもたちが心身ともに健やかに成長するためには、子どもたちの性に関する悩みを解消したり、性のトラブルを回避したりすることが必要です。そのためには、日ごろから学校と家庭が教育方針や性に関する教育の意義、内容、方法について共通理解を深めていくことが大切です。



5 家庭における子どもとのかかわり

(1)思春期の体の変化

小学4年生の保健の授業では、思春期の体の変化を学習します。

[教科書の内容]

○女子の体の変化

- ・からだ全体が丸みを帯びてくる
- ・乳房がふくらんでくる
- ・わきの下や性器のまわりに毛が生えてくる
- ・月経が始まる(初経)



○男子の体の変化

- ・からだ全体がしっかりしてくる
- ・声変わりする
- ・ひげが生えてくる
- ・わきの下や性器のまわりに毛が生えてくる
- ・射精を経験する(精通)



- ・体は年齢に伴って変化します。
- ・体の発育、発達には個人差があります。
- ・心の成長も個人差があります。

こんな時、どうしよう・・・

○精通や初経があったら、どのような対処をしますか？

→そろそろかなと思ったら、事前に生理用のショーツとナプキンの場所や汚れてしまったショーツやパンツをどうするかなどを教えておきましょう。

学校で始まった時には、先生に相談し、保健室に行くように伝えましょう。

○生理痛がひどい時、どうしますか？

→身体を温め、痛みが強い場合は、病院に相談しましょう。

お子さんの成長過程における自然な流れで、いろいろな場面が考えられることと思います。親はお子さんの味方であるから、「何かあったらいつでも相談する」という姿勢を常に知らせておくことが大切です。

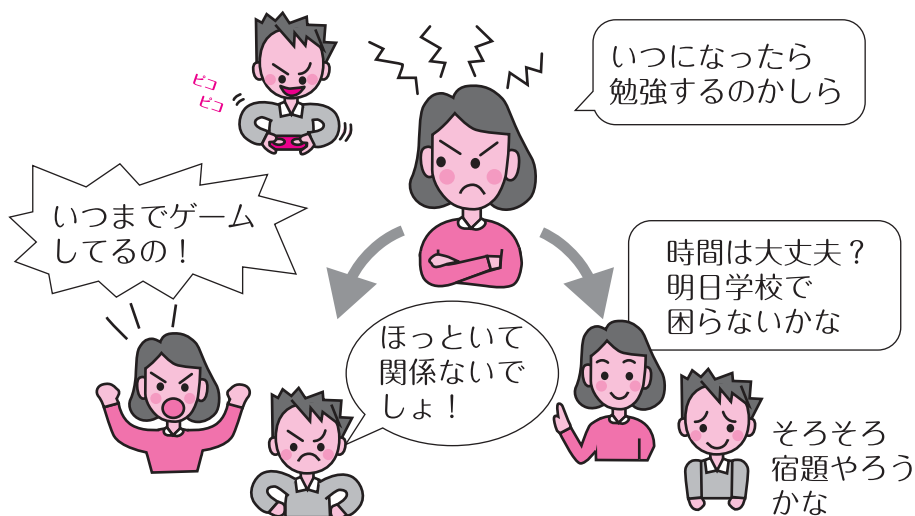
お子さんが相談してきたら、まずしっかり話を聴くことです。

男子と女子の違いを認め、思いやりの気持ちをもつことが大切であるということを伝えましょう。

(2)反抗期かな・・・と思ったら

反抗期は、子どもの発達段階で大人への階段を上りはじめたという、成長の証ととらえましょう。

子どもに反抗的な態度をとられても、しっかり向き合い子どもの思いをじっくり聴くことが、子どもの中に「存在を認めてもらっている」という実感を与えることになり、その積み重ねが自尊心をはぐくむことになります。



大人の言葉かけしだいで子どもの受け止め方は変わってきます。

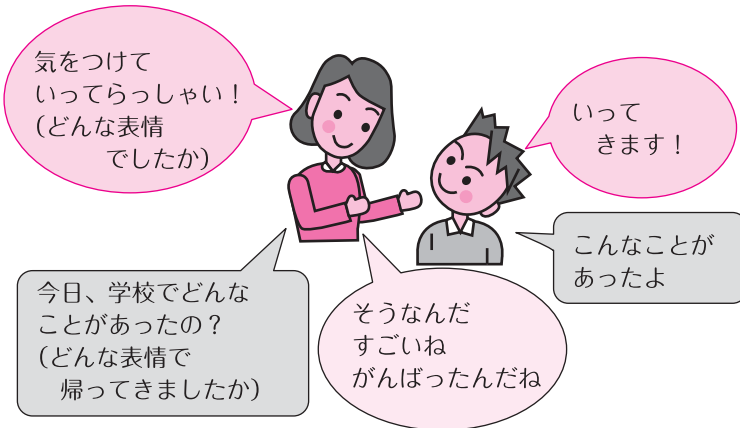
**日ごろから子どもが気軽に相談できる雰囲気
作りに努めましょう。**

(3)しっかり向き合って(Face to Face)

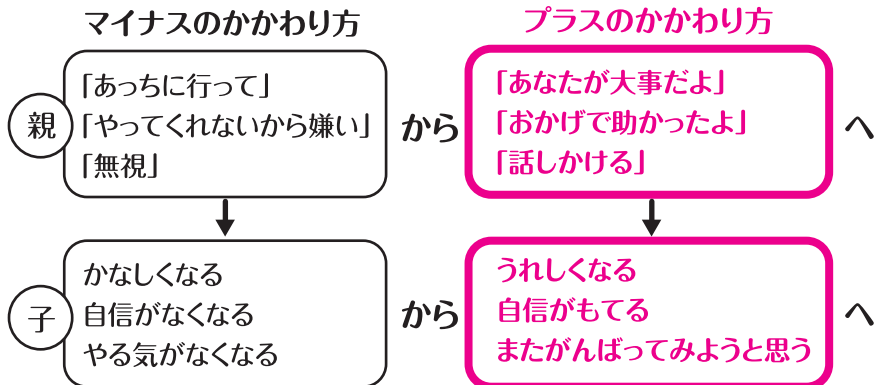
子どもとどう向き合っていますか？

子どもは、「自分は認められている」と実感できることを望んでいます。

そのためにゆっくり話を聴く、顔を見て話をする、共感する(うなづく)ことが大切です。



マイナスのかかわり方からプラスのかかわり方へ



子どもは、親に向き合ってもらえないことがとてもつらく感じます。

◆子どもと向き合うためのポイント

子どもは、家族に認めてもらうことで、自己存在感を実感することができます。家族で食事をしたり団らんの時間を作ったりして家族で話し合う機会を作りましょう。

◆生きていくモデルとしての親の役割

子どもは、言葉で伝えられたことと同時に、親の「態度」や生きる「姿勢」を観察し学んでいます。話をじっくりと聴く機会と時間を親子で共有することが必要です。

◆自立・自律に向けての準備

自分でできることは自分でさせ、生活面・金銭面での自己管理ができるようにしていきましょう。

◆子どものサインを見落とさない

思春期の問題行動には、必ず前兆となるサインが子どもから発せられています。ささいなことと決めつけず子どもから発せられたサインを受けとめましょう。

子どもの行動がいつもと違うと感じた時に、親がどのような態度をとるのが重要です。言葉によるコミュニケーションを大切にしながら、自立・自律に向けてかかわっていきましょう。

子どもに現れるサイン

- | | |
|-------------|-----------------|
| ・食欲がなくなる | ・学校になかなか行きたがらない |
| ・体調を崩すことが多い | ・言葉遣いが悪くなる |
| ・朝寝坊をする | ・夜外出をする |
| ・夜更かしをする | など |

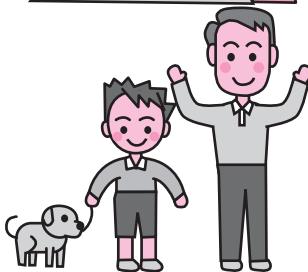
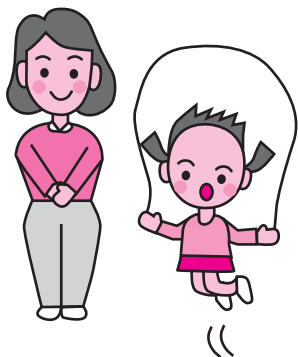
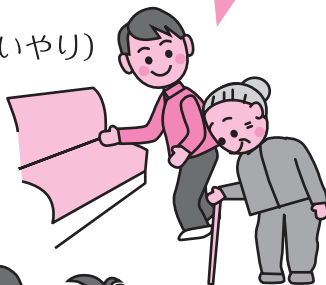
さまざまなかわりが子どもの心を育てます。



みんなのいのち・性を大切に

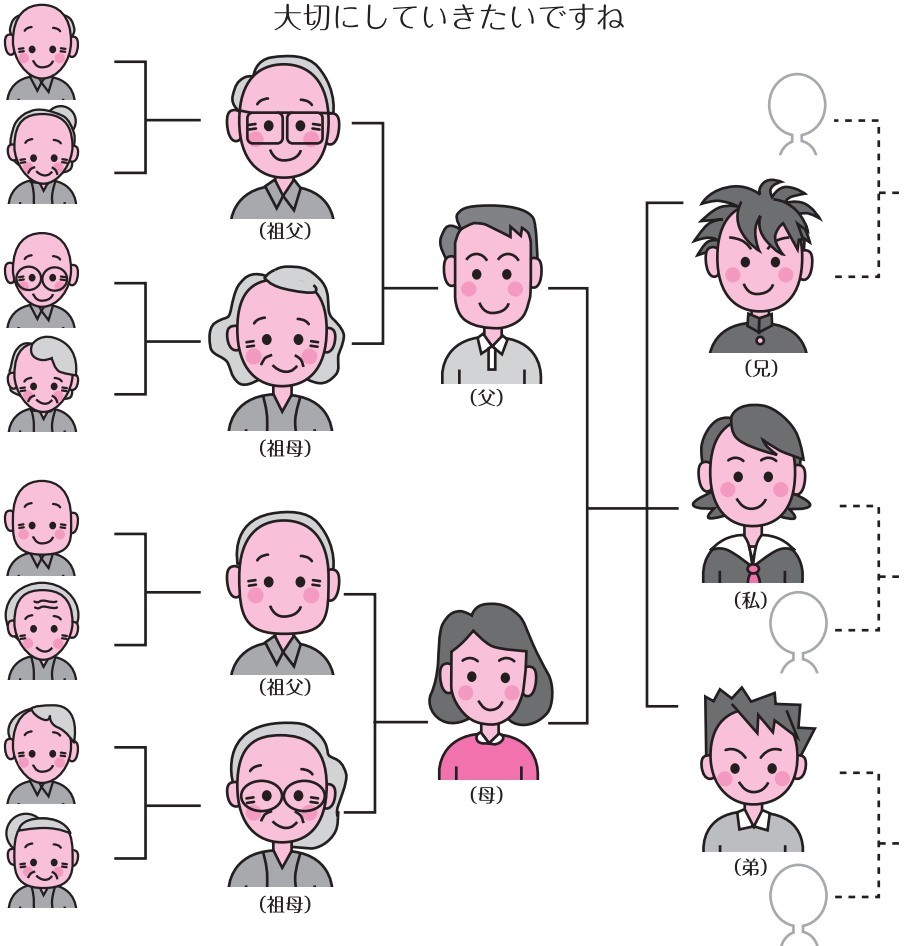
他人を大切に（思いやり）

自分を大切に（自尊感情）



6 いのちのつながり

輝く未来に向かって、自分や他人を大切に、今を精一杯生きる子ども
いのちってつながっています
大切な一人のいのち
大切にしていきたいですね



大切に育まれているいのち

かけがえのないいのち

いのち生きいき輝くふくしまっ子

子育てに関する相談窓口

教育相談
(県教育センター)

フリーダイヤル 0120-453-141
TEL 024-553-3141 (内線25~28)

福島
いじめSOS24

0120-916-024(24時間受付)

思春期相談ほっとライン

相談窓口は保健福祉事務所(保健所)です。気軽に相談できます。

電話相談：月～金(随時)9時～17時

メール相談：随時受付

県北保健福祉事務所

専用ダイヤル 024-535-5615
メールアドレス peer@pref.fukushima.jp

県中保健福祉事務所

専用ダイヤル 0248-75-7822
メールアドレス teens_kentyuu@pref.fukushima.jp

県南保健福祉事務所

専用ダイヤル 0248-21-0067
メールアドレス teens_kennan@pref.fukushima.jp

会津保健福祉事務所

専用ダイヤル 0242-29-5347
メールアドレス remon_izu@pref.fukushima.jp

南会津保健福祉事務所

専用ダイヤル 0241-62-1700
メールアドレス teens_minamiaidu@pref.fukushima.jp

相双保健福祉事務所

専用ダイヤル 0244-26-1186
メールアドレス teens_sousou@pref.fukushima.jp

郡山市子ども支援課(郡山市こども総合支援センター(ニコニコこども館))

時間：8：30～18：00 休館：第3土曜とその翌日

専用ダイヤル 024-924-2525

いわき市保健所地域保健課母子保健係 時間：8：30～17：15(平日)

専用ダイヤル 0246-27-8597
メールアドレス hokenjyo@city.iwaki.fukushima.jp(随時)

お問合せは

福島県教育庁学校生活健康課 024-521-7762

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。